

## 2019 年度研究大会の開催案内

### ■ 研究大会プログラム

共通テーマ: 「公共政策研究のさらなる発展のために:人材育成と研究の進展に向けて」  
開催校: 追手門学院大学  
開催日時: 2019 年 6 月 8 日(土)・9 日(日)

### 開催趣旨

2019 年度研究大会企画会  
委員長 岩崎 正洋

日本公共政策学会 2019 年度研究大会は、6 月 8 日(土)・9 日(日)に追手門学院大学(大阪府茨木市)において開催されます。本大会の共通テーマは、「公共政策研究のさらなる発展のために:人材育成と研究の進展に向けて」です。

初日の共通論題では、「公共政策に関する大学院教育と進路の現状と課題」というテーマをとり上げます。本学会では、これまで学部レベルの公共政策に関する教育について、しばしば議論されてきましたが、大学院の教育や大学院を修了した後の進路については、あまり議論されてこなかったように思われます。今回は、ラウンドテーブル形式により、いくつかの大学院の事例を中心とした情報の提供や交換、それらをふまえた議論の場を設けることで、公共政策研究を担う今後の人材育成に向けた展開を考えてみたいと思います。

二日目の共通論題は、「公共政策研究における地方自治とガバナンス」と題し、公共政策研究における一つの代表的な研究フィールドである「地方自治」に焦点を絞るとともに、単に地方自治研究に留まらないような奥行きのある視角として「ガバナンス」論にも着目することにより、実証的かつ学際的な研究報告の提示を期しております。年に一度の研究大会において、日本における公共政策研究の先端的な研究成果が提示され、それに対して真摯な討論がなされることを期待して企画を準備しました。

初日午前には、若手報告セッションを 6 つ、初日午後から二日目の午後にかけて、自由公募セッションを 6 つ、企画委員会セッションを 7 つ配置しております。当初、テーマ別公募セッションとして、「公共政策と大学教育」、「若手研究者のキャリア・アップとワークライフ・バランス」、「大学とガバナンス」の 3 つの募集を行いました。これらのうち最初の二つについては、応募状況をふまえて最終的に企画委員会セッションという位置づけで開催することになりました。企画委員会セッションは他にも「実験手法と公共政策学」、「福祉国家財政の構造的変化と福祉政治」、「ゲームチェンジャ

一技術と安全保障政策」,「利益集団・組合行動の政治経済学」,「地域自治組織と市民参加・参加民主主義」などがあり,公共政策研究の先端的な研究動向をご理解いただけるものになっていると思われま

す。若手報告セッションでは,1つの報告につき2人の討論を配置することにより,若手会員にとって今回の報告が今後の研究の発展に役立つように企画しました。また,初日から二日目にかけての共通論題や企画委員会セッションを通じて,研究者の養成(人材育成と研究の進展)に向けた議論も併せて行うことができると考えております。若手・中堅の会員はもちろん,現在,学部生や大学院生の指導を担っているヴェテランの会員や,既に立派に後進を育てられた重鎮の会員にも参加していただくことで,今年度の研究大会が公共政策研究のさらなる前進につながるものになればと願っております。

## **第1日目 2019年6月8日(土)**

**9:30~ 受付**(5号館 B1階学生ホール)

### **10:00~11:30 若手報告セッション**

#### **若手報告セッションⅠ**(5号館2階5201教室)

報告: 山田健(北海道大学大学院)「分権的制度配置における国家的事業の展開:高度成長期の鹿島港整備を事例として」

渡邊有希乃(早稲田大学大学院)「競争入札と行政組織の限定的合理性:公共工事調達の適正価格を巡る“ダブルスタンダード”はどのように説明されるか」

司会: 山谷清秀(浜松学院大学)

討論: 野田遊(同志社大学)・山谷清秀(浜松学院大学)

#### **若手報告セッションⅡ**(5号館2階5202教室)

報告: 成鎮宇(京都大学大学院)「権限移譲と地方政府の政策実施——介護サービス事業者に対する事後コントロールの実証分析

安藤加菜子(京都大学大学院)「ケア従事者への現金給付政策の動向」

司会: 西岡晋(東北大学)

討論: 荒見玲子(名古屋大学)・西岡晋(東北大学)

#### **若手報告セッションⅢ**(5号館2階5203教室)

報告: 伊藤哲也(法政大学大学院)「市区町村における議員定数の多様化」

浅井直哉(日本大学)「日本における政党助成制度の逆進性:政党交付金は新党の組

織化を促進するのか」

司会： 辻陽(近畿大学)

討論： 谷口将紀(東京大学)・辻陽(近畿大学)

#### **若手報告セッションⅣ**(5号館3階5302教室)

報告： 熊田知晃(明治大学大学院)「自治体文化政策における専門的人材に関する考察——鹿児島県の文化政策担当職員を事例に」

祐野恵(京都大学)「市レベルの議員による政策に関する知識・情報の取得——政務活動費を用いた分析」

司会： 森裕亮(北九州市立大学)

討論： 入江容子(愛知大学)・森裕亮(北九州市立大学)

#### **若手報告セッションⅤ**(5号館3階5303教室)

報告： 杉谷和哉(京都大学大学院)「日本型EBPM」の展開と課題——2010年代統計改革の政策過程とエビデンス論」

張愛倫(京都大学大学院)「ジェンダー主流化の施行——国際比較から見るGMの特徴」

司会： 坂本治也(関西大学)

討論： 秋吉貴雄(中央大学)・坂本治也(関西大学)

#### **若手報告セッションⅥ**(5号館3階5304教室)

報告： 奥田恒(京都大学大学院)「プライバシーの制限をともなう政策手段について——政策手段論と政策規範論の観点から」

福森憲一郎(日本大学大学院)「サイバースペースの行動規範に関する「安定性」の言説分析」

司会： 土屋大洋(慶應義塾大学)

討論： 加藤朗(桜美林大学)・土屋大洋(慶應義塾大学)

#### **11:30~12:45 昼休み**

**理事会**(5号館8階大会議室)

#### **12:45~14:45 個別テーマセッションⅠ**

#### **企画委員会セッションⅠ 研究者のキャリア・アップとワークライフ・バランス——研究者のダイバーシティ確保のために**(5号館2階5202教室)

報告： 深谷健(武蔵野大学)「ポストドク留学とアカデミック・キャリア形成」

藤田由紀子(学習院大学)「ダイバーシティ確保における論点の広がり」

北川雄也(同志社大学)「障害を持つ研究者のキャリア・アップとワークライフ・バランス」  
司会: 辻陽(近畿大学)

#### **企画委員会セッションⅡ 実験手法と公共政策学**(5号館2階5203教室)

報告: 原田勝孝(福岡大学)・伊藤岳(広島大学) “Measuring Destruction from Above: The long-term impact of the WWII air raids in Japan”  
篠原舟吾(国際大学) “Bad Performance-Low Trust Link and Local Government: A Quasi-Experimental Study”

司会: 坂本治也(関西大学)

討論: 砂原庸介(神戸大学)・秦正樹(京都府立大学)

#### **自由公募セッションⅠ**(5号館3階5302教室)

報告: 高橋勇介(京都大学)「非正規雇用から正規雇用への移行に対する実証分析——雇用保険と教育訓練給付の問題を中心に」  
野崎祐子(安田女子大学)「日本における保育・幼児教育コスト意識と施策」

司会: 中川雅之(日本大学)

討論: 堀真奈美(東海大学)・中川雅之(日本大学)

#### **自由公募セッションⅡ**(5号館3階5303教室)

報告: 小林悠太(ひょうご震災記念21世紀研究機構)「中央府省の組織編制2000-2015:局  
課中心の分析からの転換に向けて」  
田口一博(新潟県立大学)「公共政策学における公文書史料とデータアーカイブ」

司会: 市川喜崇(同志社大学)

討論: 木寺元(明治大学)・市川喜崇(同志社大学)

#### **自由公募セッションⅢ**(5号館3階5304教室)

報告: 幸田雅治(神奈川大学)「市町村合併と大規模災害」  
山岸絵美理(大月市立大月短期大学)「消防行政と住民協働」  
三浦正士(長野県立大学)「大都市行政と市民防災政策」  
黒石啓太(日本都市センター)「島嶼を含む非常備消防自治体における防災対策の現状と課題」

司会: 牛山久仁彦(明治大学)

討論: 永田尚三(関西大学)

#### **15:00~16:30 共通論題Ⅰ 公共政策に関する大学院教育と進路の現状と課題**(5号館2階5201教室)

パネリスト: 真山達志(同志社大学)

浅野耕太(京都大学)  
岡本哲和(関西大学)  
加藤淳子(東京大学)  
伊藤恭彦(名古屋市立大学)

モデレーター: 岩崎正洋(日本大学)

**16:40~17:10 会長講演**(5号館2階5201教室)

縣公一郎(早稲田大学)「日本公共政策学会の軌跡——大会報告論題を概観して」

**17:10~17:40 総会**(5号館2階5201教室)

**17:40~18:00 学会賞授与式**(5号館2階5201教室)

**19:00~ 懇親会**(ホテル阪急エキスポパーク)

## **第2日目 2019年6月9日(日)**

**9:30~ 受付**(5号館B1階学生ホール)

**10:00~12:00 個別テーマセッションII**

**企画委員会セッションIII 福祉国家財政の構造的変化と福祉政治**(5号館3階5301教室)

報告: 佐藤滋(東北学院大学)「福祉国家財政の再編と変容:国際比較からみるスウェーデンの位置付け」

古市将人(帝京大学)「スウェーデン財政の構造変化と人々の分断」

秋朝礼恵(高崎経済大学)「スウェーデンの福祉政治——2000年代以降の政治的対抗と有権者からの支持調達」

司会: 西岡晋(東北大学)

討論: 北山俊哉(関西学院大学)・藪長千乃(東洋大学)

**企画委員会セッションIV 公共政策と大学教育**(5号館3階5302教室)

報告: 村上紗央里(同志社大学大学院)・新川達郎(同志社大学)「公共政策学教育における

カリキュラムの運営実態——京都市の3大学を事例に」

滋野浩毅(京都産業大学)「現場実践教育科目による学生たちの学びと変化——京都産業大学現代社会学部『プロジェクト演習』に至る経験をもとに」

久保友美(龍谷大学)「Community Based Learning から見える大学と地域の変化と課題——龍谷大学政策学部での取り組みを事例に」

司会: 梅原豊(京都府立大学)

討論: 杉岡秀紀(福知山公立大学)・大藪俊志(佛教大学)

#### **自由公募セッションⅣ**(5号館3階5303教室)

報告: 松尾隆佑(法政大学)「なぜ指定廃棄物処理は「失敗」したか——国および5県における政策過程の分析」

田中雅子(東京大学)「家庭ごみ有料化を規定する政治要因」

黒澤之(放送大学)「地方自治体の行政区域境で起きる環境影響評価手続きの問題——公共政策の視点」

司会: 宇佐美誠(京都大学)

討論: 宇野二郎(横浜市立大学)・宇佐美誠(京都大学)

#### **自由公募セッションⅤ**(5号館3階5304教室)

報告: 和足憲明(大阪成蹊大学)「主権者教育の効果を検証する」

尾鷲瑞穂(国立環境研究所)「日本におけるオープンサイエンス推進の論点とその課題」

司会: 松元雅和(日本大学)

討論: 宮脇昇(立命館大学)・松元雅和(日本大学)

### **12:00~13:00 昼休み**

### **13:00~15:00 個別テーマセッションⅢ**

#### **企画委員会セッションⅤ ゲームチェンジャー技術と安全保障政策**(5号館3階5301教室)

報告: 小谷哲男(明海大学)「将来戦における米空母の有用性をめぐる議論」

川口貴久(東京海上日動リスクコンサルティング)「なぜ新興技術の評価・予測は難しいのか？」

鶴岡路人(慶應義塾大学)「ゲームチェンジャー技術をいかに阻止するか——『技術の論理』対『政治の論理』」

司会: 土屋大洋(慶應義塾大学)

討論: 加藤朗(桜美林大学)

#### **企画委員会セッションVI 利益集団・組合行動の政治経済学**(5号館3階5302教室)

- 報告： 山本英弘(筑波大学)「継続調査データからみる利益団体政治の構造と変容」  
米岡秀眞(山口大学)「地方公務員給与に対する組合組織の影響力」  
新倉純樹(国際経済労働研究所)「労働組合員の投票行動——組合員政治意識調査を用いた分析」
- 司会： 鷺見英司(新潟大学)
- 討論： 長峯純一(関西学院大学)・飯島大邦(中央大学)

#### **企画委員会セッションVII 地域自治組織と市民参加・参加民主主義**(5号館3階5303教室)

- 報告： 栗本裕見(大阪市立大学)「自治体コスト削減の中の“参加”？——伊賀市における公共施設廃止をめぐる地域組織の抵抗」  
宗野隆俊(滋賀大学)「市民自治組織とシビック・エンゲージメント:ポートランド市のネイバーフッド・アソシエーションから考える」
- 司会： 森裕亮(北九州市立大学)
- 討論： 金川幸司(静岡県立大学)・後房雄(愛知大学)

#### **自由公募セッションVI**(5号館3階5304教室)

- 報告： 遠藤崇浩(大阪府立大学)「防災局面にみる地下水ガバナンス——政令指定都市における災害用井戸の現況と課題」  
宮脇健(日本大学)「高等教育機関の防災体制に関する調査研究——高等教育機関へのアンケート調査を基に」  
寺迫剛(行政管理研究センター)「過去のレファレンダムを振り返り、現在を照らす:原発立地をめぐる住民投票事例——巻町1996・海山町2001」
- 司会： 河村和徳(東北大学)
- 討論： 砂金祐年(常磐大学)・河村和徳(東北大学)

#### **15:00~15:15 若手最優秀報告賞表彰**(5号館2階5203教室)

#### **15:15~17:15 共通論題II 公共政策研究における地方自治とガバナンス**(5号館2階5203教室)

- 報告： 野田遊(同志社大学)「市民への情報提供と市民による評価——大阪都構想の賛否は情報提供で変化するか？」  
青木一益(富山大学)「電力システムの分散化に果たす自治体・地域ガバナンスの可能性に関する考察——サステナビリティ・トランジション論からの示唆を得つつ」  
木寺元(明治大学)「公共政策研究と価値中立」
- 司会： 岩崎正洋(日本大学)
- 討論： 松田憲忠(青山学院大学)・大山耕輔(慶應義塾大学)

## ■ 会場等の案内

2019 年度研究大会実行委員会  
委員長 朽尾 真一

### (1) 大会会場

- ◆ 追手門学院大学茨木安威(あい)キャンパス 5 号館 2 階～3 階 大阪府茨木市西安威 2 丁目 1 番 15 号
- ◆ 受付は 9 時 30 分から 5 号館 B1・学生ホールで開始します(2019 年 4 月から茨木総持寺キャンパスが開設されていますが、会場は茨木安威キャンパスです)。

### (2) 懇親会場: ホテル阪急エキスポパーク

- ◆ 会費は 6,000 円の予定です。当日、受付にて会費をお支払いください。
- ◆ ホテルからの迎いのバスで移動します。当日ご案内します。ホテルからのお帰りはモノレール万博公園駅まで徒歩 5 分です。

### (3) 大会参加申込み

- ◆ 大会に参加する会員は、ホームページのリンクまたは下記の URL からお申し込みください。  
<https://forms.gle/2q5s3wtBF1NcrUtw6>
- ◆ 非会員は、当日、受付で会場負担金(1,000 円)をお支払いください

### (4) 予稿集(フルペーパー)

- ◆ 大会報告のフルペーパーは、2019 年 5 月下旬に開設予定の下記の URL から事前にダウンロードしてください。このサイトは 2019 年 6 月末日に閉鎖します(期間限定公開です)。  
<https://www.ccile.otemon.ac.jp/kyoiku/event/ppsaj2019/>  
ダウンロード用 ID: 会報 61 号に掲載いたします  
ダウンロード用パスワード: 会報 61 号に掲載いたします

### (5) 大会会場へのアクセス

- ◆ スクールバスをご利用ください。スクールバス以外に阪急バスが御座います。
- ◆ 6/8 は通常のバスダイヤ便を増便する予定です。セッションの 45 分前のバスをご利用ください。
- ◆ 6/9 は特別ダイヤで運行予定です。大会のホームページに掲載しますので、ご覧ください。



## (6) 昼食

- ◆ 昼食は大学構内の食堂棟 1 階「ごはんや追手門食堂」をご利用下さい。
- ◆ 学生会館のコンビニエンスストア「ファミリーマート」もご利用頂けます。

## (7) 宿泊

- ◆ JR 大阪駅から JR 茨木駅まで快速で 14 分(普通で 18 分)、阪急梅田駅から阪急茨木市駅まで特急で 17 分(普通で)です。沿線や大阪市内の宿泊施設をお薦めします。茨木市内にも数件の宿泊施設は御座います。

## (8) 報告者などのみなさまへ

- ◆ 会場には Windows8.1 の PC とプロジェクタがあります。Cドライブにはアクセスできませんので、USB メモリなどの外部メモリをお持ちください。持込 PC は VGA または HDMI 端子で接続できます。ケーブルも用意してあります。またディスプレイポートにも対応していますが、ケーブルの準備は各自でお願いします。
- ◆ コピー機はコンビニエンスストアと、コイン式のコピー機が 5 号館 6 階に設置されています。配付資料の印刷などで必要とする方はご利用ください。

## (9) その他

- ◆ 当日は無線 LAN も準備します。接続時にログイン認証が必要です。再接続時にもログイン認証が必要です。